

さんじょう

三条市の今を、いっしょにみてみよう！  
SANJO CITY COUNCIL NEWS No.52



2024

5.1

# 市議会だより

## 済生会新潟県央基幹病院 開院

P14 常任委員会審査レポートより

今号の  
**PICK  
UP!**

令和6年度当初予算を議決



議会を傍聴しませんか？

次の定例会の  
開催予定は

6/17<sup>月</sup>～

市議会だよりへのご意見・ご要望は、こちらまで。

電話：0256-34-5583 FAX：0256-33-8861

メール：gikaij@city.sanjo.niigata.jp

インターネットでも情報発信中！

三条市議会

検索

### 今号の主な内容

令和6年(2024年)3月定例会(3月1日～25日)

●議案賛否一覧……………P2

《市政を問う》

●大綱質疑……………P5

●討論……………P6

●一般質問……………P7

●常任委員会審査レポート……………P14

《ぎいん見聞録》

●行政視察報告……………P15

議案賛否一覧

○:議案に対して賛成 ×:議案に対して反対

議案	議案	件名	概要	審査した委員会	会派名 (下段は所属議員数)					議決結果
					清風会	自由クラブ	日本共産党議員団	公明党議員団	無所属	
議第13号	辺地総合整備計画の策定について	笠掘辺地における公共的施設整備に関する財政上の特別措置を受けるため、辺地に係る公共的施設の総合整備のための財政上の特別措置等に関する法律の規定に基づき、同辺地に係る総合整備計画を策定するもの 計画期間:令和6年度から令和8年度まで	市民福祉常任委員会	○	○	○	○	○	○	原案可決
議第14号	辺地総合整備計画の変更について	中浦辺地に係る総合整備計画(令和4年度から令和6年度まで)について、公共施設等の整備計画の内容を変更するもの	市民福祉常任委員会	○	○	○	○	○	○	原案可決
議第15号	三条市過疎地域持続的発展計画の変更について	三条市過疎地域持続的発展計画(令和3年度から令和7年度まで)について、新たに事業名(施設名)等を追加する変更を行うもの	市民福祉常任委員会	○	○	○	○	○	○	原案可決
議第16号	三条市都市計画法に基づく開発許可の基準の緩和に関する条例の制定について	都市計画法および都市計画法施行令の規定に基づき、開発許可の基準の緩和に関し必要な事項を定めるため、本条例を制定するもの 施行期日:公布の日	経済建設常任委員会	○	○	○	○	○	○	原案可決
議第17号	三条市職員の育児休業等に関する条例等の一部改正について	三条市職員の給与に関する条例の一部改正に伴い、会計年度任用職員に対して勤労手当の支給が可能となることから、関係条例について、必要な改正を行うもの 施行期日:令和6年4月1日	総務文教常任委員会	○	○	○	○	○	○	原案可決
議第18号	三条市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について	三条市特別職報酬等審議会の答申の内容を考慮し、議会議員の議員報酬について、必要な改正を行うもの 施行期日:令和6年4月1日	総務文教常任委員会	○	○	○	○	○	○	原案可決
議第19号	三条市特別職の職員の給与に関する条例の一部改正について	三条市特別職報酬等審議会の答申の内容を考慮し、市長、副市長および教育長の給料月額について、必要な改正を行うもの 施行期日:令和6年4月1日	総務文教常任委員会	○	○	○	○	○	○	原案可決
議第20号	三条市手数料条例の一部改正について	建築基準法施行令の一部改正に伴い、既存不適格建築物の大規模の修繕および大規模の模様替えにおける特例認定制度が創設されたことから、当該認定の事務に係る手数料を定めるため、必要な改正を行うもの 施行期日:令和6年4月1日	経済建設常任委員会	○	○	○	○	○	○	原案可決
議第21号	三条市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について	特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業並びに特定子ども・子育て支援施設等の運営に関する基準の一部改正に伴い、本市においてもこれに準じ、必要な改正を行うもの 施行期日:令和6年4月1日	総務文教常任委員会	○	○	○	○	○	○	原案可決
議第22号	三条市女性相談員条例の一部改正について	売春防止法の一部改正等に伴い、規定の整理を行うため、必要な改正を行うもの 施行期日:令和6年4月1日	総務文教常任委員会	○	○	○	○	○	○	原案可決
議第23号	三条市介護保険条例の一部改正について	第9期介護保険事業計画の実施に伴い、保険料率の額の改定を行うことなどから、必要な改正を行うもの 施行期日:令和6年4月1日	市民福祉常任委員会	○	○	×	○	○	○	原案可決
議第24号	三条市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例等の一部改正について	指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準等が見直されたことから、本市においてもこれに準じるため、必要な改正を行うもの 施行期日:令和6年4月1日	市民福祉常任委員会	○	○	○	○	○	○	原案可決
議第25号	三条市個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正について	行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の一部改正に伴い、規定の整理を行うため、必要な改正を行うもの 施行期日:行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律等の一部を改正する法律(令和5年法律第48号)の施行の日	市民福祉常任委員会	○	○	○	○	○	○	原案可決
議第26号	三条市空家等及び空地の適正管理に関する条例の一部改正について	空家等対策の推進に関する特別措置法の一部改正に伴い、管理不全空家等の管理に関する措置について定められたことから必要な規定の整備を行うとともに、危険な状態が切迫している空き家等に対し緊急安全措置を講ずることができるよう、必要な改正を行うもの 施行期日:公布の日	市民福祉常任委員会	○	○	○	○	○	○	原案可決
議第27号	三条市道路占用料条例の一部改正について	地価水準等を勘案して国が管理する国道に係る占用料が改正されたことを踏まえ、県が管理する国道および県道に係る占用料の見直しが行われたことから、本市においてもこれに準じるため、必要な改正を行うもの 施行期日:令和6年4月1日	経済建設常任委員会	○	○	○	○	○	○	原案可決
議第28号	三条市子どもの育ちサポートセンター条例の一部改正について	児童福祉法の一部改正に伴い、こども家庭センターの設置に係る努力義務等が定められたことから、三条市子どもの育ちサポートセンターをこども家庭センターとして位置付けるため、必要な改正を行うもの 施行期日:令和6年4月1日	総務文教常任委員会	○	○	○	○	○	○	原案可決
議第29号	三条市水道事業の設置等に関する条例等の一部改正について	地方自治法の一部改正に伴い、規定の整理を行うため、必要な改正を行うもの 施行期日:令和6年4月1日	経済建設常任委員会	○	○	○	○	○	○	原案可決



3月定例会は、3月1日から25日までの25日間にわたって開かれました。初日は、市長が令和6年度1年間の基本方針や政策について施政方針演説を行いました。

市長提出議案は、施政方針に沿った「令和6年度三条市一般会計予算」500億7100万円、「4つの特別会計の令和6年度予算」202億9580万円、「令和6年度三条市水道事業会計予算」30億9952万2000円、「令和6年度三条市下水道事業会計予算」58億7757万1000円のほか、条例の制定や一部改正、令和5年度の補正予算など37件が上程されました。

また、市長が提案する介護保険料率の額を修正する「三条市介護保険条例の一部改正」について対する修正案が3名の議員から提出されました。

採決の結果、修正案を賛成少数で否決し、全て原案の通り可決、同意または承認しました。

議員発案では、「議員定数等調査特別委員会の設置」が提案され、採決の結果、賛成少数で否決しました。

また、請願の採択に伴い、関係行政庁へ意見書を提出することにしました。

議案賛否一覧

○:議案に対して賛成 ×:議案に対して反対

議案	議案	件名	概要	審査した委員会	会派名 (下段は所属議員数)					議決結果
					清風会	自由クラブ	日本共産党議員団	公明党議員団	無所属	
議第1号	令和6年度三条市一般会計予算	500億7,100万円(対前年度比6.3%増)	総務文教常任委員会 経済建設常任委員会	○	○	×	○	○	○	原案可決
議第2号	令和6年度三条市国民健康保険事業特別会計予算	81億6,760万円(対前年度比3.7%減)	市民福祉常任委員会	○	○	○	○	○	○	原案可決
議第3号	令和6年度三条市後期高齢者医療特別会計予算	14億9,770万円(対前年度比18.1%増)	市民福祉常任委員会	○	○	×	○	○	○	原案可決
議第4号	令和6年度三条市介護保険事業特別会計予算	106億880万円(対前年度比3.4%増)	市民福祉常任委員会	○	○	×	○	○	○	原案可決
議第5号	令和6年度三条市勤労者福祉共済事業特別会計予算	2,170万円(対前年度比1.4%増)	経済建設常任委員会	○	○	○	○	○	○	原案可決
議第6号	令和6年度三条市水道事業会計予算	収益的支出 20億8,198万4,000円(対前年度比0.6%増) 資本的支出 10億1,753万8,000円(対前年度比8.1%増)	経済建設常任委員会	○	○	○	○	○	○	原案可決
議第7号	令和6年度三条市下水道事業会計予算	収益的支出 25億1,112万3,000円(対前年度比1.8%増) 資本的支出 33億6,644万8,000円(対前年度比6.4%増)	経済建設常任委員会	○	○	○	○	○	○	原案可決
議第8号	令和5年度三条市一般会計補正予算	国の補正予算に伴う三条地域水道用水供給企業団への出資金や県事業費負担金のほか、人事院勧告を踏まえた公定価格の改定に伴う私立保育園の運営委託料等の増額や職員の普通退職に伴う退職手当などについて、必要な予算措置を行うもの 補正額 29億279万3,000円 補正後の額 582億2,351万5,000円	総務文教常任委員会 市民福祉常任委員会 経済建設常任委員会	○	○	○	○	○	○	原案可決
議第9号	令和5年度三条市介護保険事業特別会計補正予算	紙おむつ購入費助成券の利用枚数増加に伴い紙おむつ購入費助成費を増額するもの 補正額 216万2,000円 補正後の額 104億2,026万9,000円	市民福祉常任委員会	○	○	○	○	○	○	原案可決
議第10号	監査委員の選任について	監査委員長橋昇さんは、令和6年3月2日任期満了することとなるので、その後任委員として長橋昇さんを選任するもの 委員の任期:4年		○	○	○	○	○	○	同意
議第11号	農業委員会委員の任命について	農業委員会委員に次の方を任命するもの 委員の任期:3年 井上利弥さん 佐藤直人さん 田邊健一さん 赤原一郎さん 志田洋一さん 吉田昇さん 坂井浩行さん 山倉広さん 鈴木範男さん 五十嵐弘作さん 高橋人士さん 飛岡雅史さん 小師栄一さん 山屋和徳さん 早川直子さん 熊倉睦さん 笹岡大介さん 小池秀一さん 瀬高栄津子さん		○	○	○	○	○	○	同意
議第12号	辺地総合整備計画の策定について	大平辺地における公共的施設整備に関する財政上の特別措置を受けるため、辺地に係る公共的施設の総合整備のための財政上の特別措置等に関する法律の規定に基づき、同辺地に係る総合整備計画を策定するもの 計画期間:令和6年度から令和8年度まで	市民福祉常任委員会	○	○	○	○	○	○	原案可決

- Q** ゼロカーボンシティとして取り組んではどうか。  
ゼロカーボンシティを宣言する予定がある」と判断した。
- A** 複式学級が複数年続く学校がある中、方向性を見定めていく必要があると判断した。
- Q** 小学校等の在り方の検討について、なぜこの時期なのか。  
過去30年以上減少し続けている。未婚の増加、晩婚化、合計特殊出生率の低下等、さまざまなことが要因。
- A** 出生数が10年前より4割減少したことへの見解は。
- Q** 三條市の長所はさらに伸ばし、課題にはしっかりと向き合っている内容と位置付け。その後のことは、思いを巡らせているが、しかるべき時に伝える。
- A** 三條市の長所はさらに伸ばし、課題にはしっかりと向き合っている内容と位置付け。その後のことは、思いを巡らせているが、しかるべき時に伝える。

**Check!**  
3月定例会では4会派が大綱質疑を行いました。

# 大綱質疑

**施政方針**  
任期最後の予算への思いと2期目について伺う。

- Q** プロジェクトシンカの令和6年度における取り組みと、これまでの成果は。
- A** 子育て支援課をモデル課とし、予算を伴わない改善策、事務事業の洗い出しを実施してきた。令和6年度は、各所管において改善策を実施し、組織全体が最適化できるよう努める。
- Q** ひとり親世帯に対する就業に向けた資格取得の支援とはどのようなものか。
- A** ひとり親への支援は、子どもに比べ十分ではない。自立支援教育訓練給付金を拡充し、経済的な自立を促進する。
- Q** Uターン者等に対して新たな奨学金返還の支援を打ち出したが、対象者と補助の内容は。
- A** 対象者は、Uターン者、三條市立大専門学校を卒業した人で、市内に住所を有し、市内の事業所等に勤務する40歳未満の人。  
補助の内容は、日本学生支援機構の第1種および第2種奨学金、新潟県奨学金の返還相当額で、1人当たりの上限は年間36万円、通算5年間分または180万円。

- Q** JR信越本線牛ヶ島踏切の拡幅について、開通時期、工事期間の交通規制、児童生徒の安全確保はどのような予定になっているか。
- A** JR東日本より、令和6年度から工事に着手し、令和7年度末頃に開通との見通しが示されている。
- Q** 迂回により大崎学園の通学路に危険が及ばないよう、適切な道を案内する仮設看板の設置を予定している。
- Q** 令和6年度 三條市一般会計予算 1号 議案 經常収支比率が100%を超えて

- Q** 万博首長連合負担金が増額されていること、このまま同連合に支出を続けることに疑問だ。市の見解は。
- A** 万博出展の必要経費等を含むため増額となった。万博は、国内外から
- Q** ふるさと三條応援寄附金について、退職する澤CMOの評価と今後の対応、令和5年度の見込額と令和6年度の想定額は。
- A** 評価は、「結果を残した」に尽きる。事業者と信頼関係を構築し、返礼品の分野や種類を拡大することで三條製品、農産物等の魅力を全国に発信した。今後アドバイスを受けるための費用を計上している。
- Q** 令和5年度は43億円程度を見込み、令和6年度は35億円を想定。
- Q** 地域おこし協力隊を68人に増員する目的は。
- A** これまで127人を採用し、現在45人が活動。国の方針に基づき、引き続き地域の活性化と移住、定住の促進を図る。
- Q** 寄附金という臨時的な財源を恒常的な事業に活用することにより上昇。財政調整基金残高の現状を踏まえ、財政運営に支障はないと捉えている。

議案賛否一覧				○:議案に対して賛成 ×:議案に対して反対				
議案	議案番号	件名	概要	会派所属議員数				
				清風会	自由クラブ	日本共産党議員団	公明党議員団	無所属
<b>(市長提出)</b>				9	7	3	2	1
議案	議第30号	三條市給水条例の一部改正について	水道法の一部改正に伴い、規定の整理を行うため、必要な改正を行うもの 施行期日:令和6年4月1日	○	○	○	○	○
議案	議第31号	市道路線の認定及び変更について	認定路線 1路線 延長 846.6m 変更路線 1路線 延長(増加分) 1,063.8m	○	○	○	○	○
議案	議第32号	財産の無償貸付けについて	下田地域の医療体制等確保対策事業の用に供するため、次のとおり財産を無償貸し付けするもの 建物:三條市下田保健センター 鉄筋コンクリート造 地上2階建て 貸し付け面積 267.27㎡ 土地:三條市荻堀1183番1ほか2筆 貸し付け面積 145.52㎡ 無償貸し付けの相手方:三條市荻堀1182番地1 医療法人社団陽心会 理事長 池上敬一 無償貸し付けの期間:令和6年4月1日から令和11年3月31日まで	○	○	○	○	○
議案	議第33号	長岡市及び三條市における公の施設の相互利用に関する協定の一部変更について	平成29年3月30日付で長岡市と三條市との間に締結した公の施設の相互利用に関する協定の対象施設について、三條市歴史民俗産業資料館別館を追加することなどから、協定の一部を変更するもの	○	○	○	○	○
議案	議第34号	見附市及び三條市における公の施設の相互利用に関する協定の一部変更について	平成29年3月30日付で見附市と三條市との間に締結した公の施設の相互利用に関する協定の対象施設について、三條市歴史民俗産業資料館別館を追加することなどから、協定の一部を変更するもの	○	○	○	○	○
議案	議第35号	三條市、燕市、加茂市、田上町及び弥彦村並びに新潟県三条・燕総合グラウンド施設組合の公の施設の相互利用に関する協定の一部変更について	令和元年12月20日付で燕市、加茂市、田上町および弥彦村ならびに新潟県三条・燕総合グラウンド施設組合と三條市との間に締結した公の施設の相互利用に関する協定の対象施設について、三條市歴史民俗産業資料館別館を追加することなどから、協定の一部を変更するもの	○	○	○	○	○
報告	報第1号	専決処分報告について(三條市税条例の一部改正について)	地方税法等の一部改正に伴い、本市においてもこれに準じ、必要な改正を行ったもの 専決処分日:令和6年2月26日 施行期日:公布の日	○	○	○	○	○
報告	報第2号	専決処分報告について(令和5年度三條市一般会計補正予算)	令和6年能登半島地震により被害を受けた被災者等への支援や公共施設の災害復旧事業などに係る経費のほか、国の補正予算による交付金を活用して行う、物価高騰の影響を受ける低所得世帯に対する給付金の給付に要する経費について、必要な予算措置を行ったもの 補正額 4億7,138万9,000円 補正後の額 553億2,072万2,000円 専決処分日 令和6年1月25日	○	○	○	○	○
議案	議案第1号	特別委員会の設置について	市議会に「議員定数等調査特別委員会」を設置するもの 定数:22人 審査内容:本市議会議員の定数等に関する調査・研究	○	×	×	×	×
議案	議案第2号	最低賃金の改正と中小企業支援策の拡充を求める意見書の提出について	最低賃金の地域間格差を是正するため、最低賃金を改正し、全国一律最低賃金制度にすることなどを要望する意見書を提出するもの 提出先:内閣総理大臣、厚生労働大臣、中央最低賃金審議会会長、新潟労働局長	○	○	○	○	○
請願	請願第10号	最低賃金の改正と中小企業支援策の拡充を求める請願	最低賃金の地域間格差を是正するため、最低賃金を改正し、全国一律最低賃金制度にすることなどを要望する意見書の提出を求めるもの	○	○	○	○	○



本会議最終日 採決の様子

会派所属議員 ※○:会派の代表者

清風会	○西川重則 山田富義 岡田竜一 酒井 健
	馬場博文 白鳥 賢 岡本康佑 西村邦明
	竹山嘉一
自由クラブ	○森山 昭 佐藤和雄 阿部銀次郎 武石栄二
	野崎久雄 藤家貴之 内山信一
日本共産党議員団	○小林 誠 坂井良永 武藤元美
公明党議員団	○燕 幸男 笹川信子
無所属	長橋一弘

多数の来場が見込まれ、当市の魅力をPRする絶好の機会だ。

**Q** 諸橋敬次博士奨学基金は、3つの基金を一本化し、令和5年4月にスタートした。貸与型であっても条件を満たせば返還が免除される。給付型が中心であり、海外留学のための支援金の給付制度もある。

**A** 同基金について、年間の取り崩し予定額はいくらで、単純計算すると基金は何年でなくなるのか。また、奨学金制度の継続のために基金の積み増しをどのように行うのか。

**A** 年間の取り崩し額は、令和5年度の決算見込みで2500万円程度。今後も同程度の取り崩し額と想定した場合、約18年間事業を継続できる見込みである。

基金財源の積み増しについては、今後どういった手法があるか検討する。

**議第23号**  
三条市介護保険条例の一部改正について

**Q** 第8期末の介護給付費準備基金残高は、約22億7800万円と、3年間で約3億円も増加した。保険料の引き下げに使うべきではないか。

**A** 今後、保険料の急激な上昇が見込まれる。基金は、第8期で増加した

雇用を進めているという理由で反対討論がなされたが、これは国の制度上の問題である。三条市では、本人の意向確認も行い、勤務時間や報酬においても職責に配慮したものとなっていると認識しているため、原案に賛成する。

**議第3号** 令和6年度三条市後期高齢者医療特別会計予算

**【賛成】**  
反対討論がなされたが、本議会において議論すべき予算の内容に反対する理由はない。

**議第23号** 三条市介護保険条例の一部改正について

**【賛成】**

**議第23号** 三条市介護保険条例の一部改正についてに対する修正案

**【反対】**

試算では今後介護保険給付費の急激な増加が予想される中、介護保険事業計画の最終年度に介護給付費準備基金残高がある場合、次期計画期間中の保

分も含め、第9期以降の保険料の上昇抑制に活用する。

**議第31号**  
市道路線の認定及び変更について

**Q** 新保裏館線の延伸箇所には民家等があるが、延伸することとした経緯は。

**A** 令和6年度に測量、設計を行う予定であり、その費用として国の交付金を活用するには、市道認定されていることが要件となるため。

**Q** 物件補償はどうなるのか。  
**A** 地元説明会を行った後、個々に協議を進める。



討論

日本共産党議員団

**議第1号** 令和6年度三条市一般会計予算

除料を見込む際に取り崩すことが基本であるとして修正案が提出された。

修正案では、令和9年度からの第10期に基金残高が減少し、第10期の基準月額が第9期から約1200円の引き上げとなる。

一方、原案では、第9期からの引き上げが750円に抑えられるとのことである。

よって、第10期以降も見据えて計画的に基金を投入することが肝要という市の考え方に賛同し、原案に賛成する。



本会議初日

**【反対】**

一般任用職員報酬について

市職員の4人に1人が一般任用職員で、大半は女性だ。期末、勤勉手当も支給となるが、本来は正規職員として雇うべきであり反対。

**議第3号** 令和6年度三条市後期高齢者医療特別会計予算

**【反対】**

新潟県後期高齢者医療広域連合は、令和6年度、7年度の保険料を引き上げた。通院が欠かせない高齢者が、高い保険料を払い、受診を控えるようでは本末転倒だ。

自治体の裁量が働く余地はないが、後期高齢者医療制度自体の廃止を求め立場から反対。

**議第4号** 令和6年度三条市介護保険事業特別会計予算

**【反対】**

**議第23号** 三条市介護保険条例の一部改正について

**【反対】**  
介護保険事業計画の第8期では、保険料が7.6%引き上げられた一方、介

護給付費準備基金に約3億円が積み増しされた。これは、保険料の引き上げが必要なかったということだ。

介護保険制度の安定的な運営に必要な基金残高は約6億円とのことだが、現在高はその3.8倍にも積み上がっている。基金が被保険者に十分還元されていないため反対。

**議第23号** 三条市介護保険条例の一部改正についてに対する修正案

**【賛成】**

平成28年の決算審査特別委員会では、保険料引き下げの検討を求める附帯決議を全会一致で決定している。

介護保険事業計画の最終年度で余った基金は、次期保険料を見込むに当たり取り崩すことが基本だ。

第8期で積み増しされた約3億円の基金を活用し、保険料の引き下げを図る修正案に賛成。

討論 清風会

**議第1号** 令和6年度三条市一般会計予算

**【賛成】**  
一般任用職員を捉え、行政が不安定

児童生徒等の健康診断の実施について

**Q** 今年1月に文部科学省より健康診断実施の環境整備について、原則として着衣で行うこととする通知があった。それを受けた三条市医師会との協議の結果はどうであったか。

**A** 令和5年度の健診では、脱衣だからこそ見つけられた病気もあったと聞く。通知を受け、原則、体操服や下着等の着衣、タオル等により身体を覆い、診察の場面ではプライバシーに配慮した環境を整備した上で、医師が視診を行える状態にする。

災害時の避難生活等における衛生管理について

**Q** 令和6年度、トイレカーの導入が示されたが、トイレトレーラーの導入の考えはなかったのか。

**A** 高額であり、けん引免許取得が必要なることを考え、小回りの利くトイレカーの導入を検討した。

**Q** 災害時のトイレの確保・管理計画についての考えはどうか。

**A** 簡易トイレを備蓄し、発災から24時間以内を目標に仮設トイレの設置を掲げている。

3月定例会  
一般質問  
Q&A  
ダイジエスト!

燕 幸男 議員の質問

Aーオンデマンド交通について

**Q** 複数の利用者を効率的に運ぶため、遠回りする感じが「時間が読めない」との声を聞く。改善してほしいが、どのようにしていくのか。

**A** 今後、導入地区の拡大、本格導入について検討。運行車両の適正台数を検証するなど、必要な改善を図っていく。



AIオンデマンド交通「のるーとさんじょう」



武石 栄一 議員の質問

**八十里越開通を見据えた道路整備および観光資源の連携について**

**Q** いい湯らていの湯量、新たな掘削はどうか。足湯の設置は考えているか。

**A** いい湯らていのリニューアルに関する検討を進め、現在の供給可能量を確認し、市場ニーズを踏まえて判断する。

**伝統文化である大谷地和紙の重要性について**

**Q** 伝統を後世に継承するための設備整備など、市が全面的に支援、協力すべきではないか。

**A** 市の観光資源の一つであり、保存会との意見交換を通じ、検討していく。

**下田地域の発展に係る環境整備について**

**Q** 交付税算入率は、辺地債が80%、過疎債が70%である。これらの国の有利な制度を活用し、計画的に事業をすべきではないか。

**A** 辺地総合整備計画および過疎地域持続的発展計画を策定し、現時点



ロータリー脇歩道のフェンスにある駐車場への誘導看板

比1.7倍になるなど一定の効果は出ているが、抜本的な混雑解消には至っていない。  
誘導看板は、文字が小さいとの指摘もあり、今後工夫したい。

**Q** ロータリー内のタクシースペースの見直しや、駅前駐車場の営業時間の見直しが必要ではないか。

**A** タクシースペースの見直しは難しい。人員の確保などから難しい。ただし、使いづらい、利用が伸びないということであれば、今後あらゆる手法を検討したい。



夕方の駅前ロータリータクシースペースはガラ空き



野崎 久雄 議員の質問

**人口減少時代の税収の確保について**

**Q** ささまざまな分野で人口減少の影響

で事業化が公表されている事業を行っていく。

**市有地および市有林について**

**Q** 集会所敷地について、市は関係自治会において、管理を含め、どのように対応していくのか。

**A** 維持管理は自治会で行い、寄付を受けた土地は無償で、市が購入した土地は有償で貸し付けている。譲渡希望の場合は譲渡に向けて対応する。

**Q** 学校林の活用はどうか。

**A** 現在活用はなく、今後の活用予定もない。



武藤 元美 議員の質問

**災害対策について**

**Q** 能登半島地震で倒壊したブロック塀の処理費用支援で、自然石など素材によって支援を区分した根拠は何か。

**A** ブロック塀は市の清掃センターで処理できるが、自然石は市内では処理不可能なため。

**Q** 自前処理が困難なら広域連携はできないか。

**A** 実際に受け入れている所と意見交換したい。

が出始めているが、特に経済活動における人口減少の影響についてどのように考えているのか。

**A** 経済ビジョンに基づく人材確保や販路の開拓などに取り組んでいくこととして、令和6年度予算において関連予算を計上している。

**带状疱疹ワクチン接種費用の助成について**

**Q** 過去の6月議会、9月議会における带状疱疹ワクチン接種費用の助成の必要性についての質問に対して、三条市からは令和6年度に带状疱疹ワクチン接種費用を助成する考えが示された。今回の助成はどのような制度内容で、どのような方法で周知を行うのか。

**A** 助成内容については、対象は4月1日以降の接種日において市内に住所を有する50歳以上の方とし、助成率は2分の1、助成額の上限は生ワクチンが4000円、2回の接種が必要な不活化ワクチンは1回当たり1万円とし、助成の回数は対象者1人につき1度限り。周知については、ホームページや広報紙等への掲載、医療機関、公共施設および市内店舗等へのポスター掲示やチラシの設置を通じて実施していきたい。



倒壊した自然石の塀

**Q** 避難所になる体育館に冷暖房設備は必須だ。整備すべきでは。大きい検討している。

**A** 必要性は十分承知し、財政負担も大きい検討している。

**Q** 防災関係会議にジェンダー視点反映のため、女性を一定数配置してはどうか。

**A** 現在女性の割合は1割。各団体に可能な限り女性適任者の推薦を働き掛けたい。

**Q** 防災士の養成を進め、強化を図ってはどうか。

**A** 防災士の養成は有効策と考え、今後研究したい。

**Q** 耐震改修の、全体改修の補助上限を拡充してはどうか。

**A** 市単独での増額は難しい。

**Q** 耐震改修等の補助で、代理受領制



岡本 康佑 議員の質問

**近隣自治体間の広域連携について**

**Q** 人口減少社会を考慮し、近隣自治体と合併はともかく、一部事務組合等を再構築する時期と考えるが見解を伺う。

**A** 近隣市町村等と連携することは事務効率には有効な手段の一つだ。今後望ましい形を研究する。また、周辺市長とあるべき方向性について意見交換を行う。

**Q** 県央他市町村の反応は。

**A** 今後意見交換したい。これまでも一部事務組合に限らず相互に協力、実施してきているため、協力体制が構築できると考える。

**災害対応について**

**Q** 地震の多い地域では防災用ヘルメット等を備え付ける学校が多い。三条市では検討したことはあるか。また、必要ではないか。

**A** 防災用ヘルメット整備の検討は今までない。ヘルメットを装着しないことを問題視しなければならぬ。貸与・支給・補助等どう取り組んでいけるか検討課題だ。

**A** 市民の負担軽減の観点から検討したい。

**Q** 原発事故発災時の避難が問われた。原発再稼働は中止を求めている。原発再稼働は中止を求めている。どうか。

**A** 新潟県知事が総合的に判断するものとする。

**就学援助の拡充を**

**Q** 新潟市のように、物価高騰を勘案し学用品費等の拡充をしてはどうか。新入学用品費については改定した。



小林 誠 議員の質問

**東三条駅前ロータリーと駅前駐車場の利用について**

**Q** 東三条駅を高校生の送迎で利用している方から、東三条駅前ロータリーの駐車スペースについて「何とかしてほしい」「誘導看板が見えにくい」等の声が寄せられた。どのような取り組みを行っているのか。

**A** セガエックスデューという会社から、ロータリーの混雑緩和を注意喚起し、東三条駅前駐車場へ誘導する看板の提案があり設置した。これにより駅前駐車場の夕方の利用台数は前年

**部活動地域移行とスポーツ政策について**

**Q** 部活動地域移行の中学生期だけでなく、市全体のスポーツ政策としてスポーツ推進計画を策定するべきでは。

**A** スポーツ振興の諮問機関であるスポーツ推進審議会で見解を聞く。

**Q** スポーツ需要が変化している。スポーツ課に於いては、どこまで支障が生じる場合、組織体制の改編の検討が必要となってくる。



西村 邦明 議員の質問

**不登校児童生徒支援員増員と小中学校の在り方について**

**Q** 令和4年度の不登校児童生徒数が200人に達し、今後さらなる増加が予想される。現在、わずか3人しか配置されていない不登校児童生徒支援員の増員について市の見解を伺う。

**A** 令和6年度からは、現在の3人体制から6人増員し、9人体制で対応したいと考えている。9人体制とした場合、全ての学園に毎日1人ずつ配置することが可能となる。支援員が来る曜日のみ登校できる児童生徒が一定数いることから、支援員が在籍する日

が増えることで登校できる児童生徒が増えることが期待できる。

**Q** 社会に出て困らないようにするための義務教育であるが、卒業後、進学せず困っている方の支援はどう行っているか。

**A** 青少年育成センターで、高卒認定試験や高校受験などの学習支援を週1回行っている。

### 三条市文化圏と周辺環境について

**Q** まちやまを中心とした鍛冶道場、歴史民俗産業資料館本館、同別館、中央公民館、そして体育文化会館のエリアを三条市文化圏と呼び、文化発展の中心地としてはどうか。また、劣悪な周辺道路の改修予定はあるか。

**A** 文化芸術活動に触れてもらえる素晴らしいエリアになってきた。道路環境の整備をしっかりと進めていきたい。



白鳥 賢 議員の質問

### 地域おこし協力隊の活動について

**Q** 協力隊活動により地域が活性化されたとする指標は何か。

**A** 開催イベント、活動の数で判断している。



長橋 一弘 議員の質問

### 三条市に対する住民訴訟(損害賠償請求義務付け事件)について

**Q** 以下について質問。

・ヘルス・トラディショナルツアーの目的は。

・この案件は前市長が主導した案件か。ワンテールは事業を3800万円を下請けに丸投げしているが、問題としないのか。

・市がワンテールに委託した事業の結果は不法行為に該当しないのか。「市に対する履行は完了している」と言っているが、それで異論はないのか。覚書は間違いはないのか。

・今後のインバウンド需要開拓への考えは。

・ワンテール島田氏への報道をどう思うか。

**A** 答弁はいずれも「係争中のため答弁は控える。」

**Q** 市長の命令であれば1億円でも2億円でも随意契約は可能なのか。

**A** 随意契約については、法令にのっとり、適切に行うことが我々の役割。

**Q** 三条市は隊員受け入れを支援団体として委託しているが、事業責任者として支援団体の管理は適切か。

**A** 事業計画・実績報告書・日報の提出を求めているが、一時的に住民票を移すなどにより隊員の要件を満たして採用される事例は把握していない。今後支援団体から制度の趣旨を十分認識していただく。

### 防災マニュアル・防災計画の精度について

**Q** 能登半島地震発生に際し、防災マニュアルが適切に運用されたか。

**A** 職員はおおむね適切に行動できたが、休日の公共施設の被害確認の範囲、限られた職員で対応する中で優先順位、避難所の暖房器具の不足等、課題も確認された。

**Q** 市民の地震災害の防災意識醸成は行われているか。

**A** 自主防災組織を基に震災に対してもしっかりとサポートしていく。

### 文化芸術があふれるまちへの提案

**Q** 高い性能を持ったいぶんマルチホールのPRが不足しているのではないか。

**A** ホームページ、SNSでのPRが不足していた。今後改善する。

任のなすり合いをしているが、どう思うか。

**A** 他自治体であるため、答える立場にはない。

### つつ湯のPRについて

**Q** 今期の決算予想は。

**A** 2000万円程の赤字予想。

**Q** イベントの使用料は。

**A** 無料とのこと。

**Q** 「くにさだラーメン」が話題になっているようだが、國定氏の了解をもらい、食堂の定番メニューにできないか。

**A** 市としては考えていない。

### 市長と議会の関係性について

**Q** 昨年12月議会での東三条駅前ロータリー混雑緩和策に関する私の質問で、既に市で決定済みの施策を具体的に聞かされていなかった。私は、個人の思い付きで質問しているのではなく、市民からの切実な声を受けて質問している。情報共有しないのは、議員の質問権に触れる話ではないか。

**A** 必要な情報は共有していきたい。

**Q** 文化芸術専門人材を採用してはどうか。

**A** 三条市文化芸術振興に関する懇談会で検討し企画するので必要ない。



酒井 健 議員の質問

### 災害対策

**Q** 耐震性が劣る建物と耐震診断について伺う。

**A** 平成30年の調査で、住宅総数3万3440戸、昭和56年の基準改正前が1万310戸、うち耐震性が劣るものは6769戸と推計。診断は改正前の建物のうち約28%、287件実施、うち286件が補強の必要あり、補助での補強は27件。現在全住宅の所有者に対し、納税通知書に耐震診断のチラシを同封し周知している。



令和6年能登半島地震で倒壊した家屋(石川県穴水町)

### 栄地域の工業流通団地について

**Q** 5年間の支払い据え置き等、他の団地と比較してかなり有利な販売条件なのに、なぜ完売しないのか。

**A** 据え置き期間は使用貸借期間であり、税制的にも優遇されるが、経営戦略として利用しない企業もある。

### ファミリーサポートセンター事業について

**Q** 県内20市のうち、未導入は加茂市と三条市だけ。加茂市は近々導入すると聞いている。子育て支援を重点施策とする三条市も導入が必要では。

**A** 市内では、民間の団体が同事業を実施しており、団体の活動基盤強化への支援を行っている。

### 耕作放棄地等を活用した雇用の創出について

**Q** これは市長の公約であるが、新たな情報を受けてやらないのであれ

### 中山間地域の稲作

**Q** 小規模圃場の老朽施設改修について伺う。

**A** 多面的機能支払交付金、中山間地域等直接支払交付金を活用するとともに、比較的軽微な改修等を支援する農林土木事業補助金を設けている。負担金の軽減は考えていない。

### 地域おこし協力隊

**Q** 令和6年度の制度改正について伺う。

**A** 報償費が280万円から320万円になり、活動費は200万円に変更なし。国の制度改正に沿い見直した。

**Q** 127人中27人が市内に定住と定住率が低いが、採用時の説明について伺う。

**A** 移住意欲を優先し、目的の確認と地域の実情や気候、生活環境を説明している。

**Q** この間の経費と検査体制について伺う。

**A** 平成27年度から令和4年度まで7億5940万円、令和元年の会計検査で日報、月報など活動実績が確認できる資料を整理するよう意見があった。



藤家 貴之 議員の質問

### 鳥獣被害防止対策について

**Q** 被害額はどのように算定しているのか。

**A** 農業共済組合等からの報告で算定しているが、共済未加入、自給的農家等の分は算入していない。

**Q** 猟友会、鳥獣被害対策実施隊、鳥獣監視員の違いと人数を伺う。

**A** 猟友会は狩猟者のための公益団体で84名、平均年齢は64歳。鳥獣被害対策実施隊は、被害防止計画の対策を実施するため、猟友会から推薦された市の非常勤特別職で49名。鳥獣監視員は、三条市鳥獣被害防止対策協議会が雇用した方で7名となっている。



狩猟の様子

**Q** 担い手確保について、市独自の支援は考えているのか。  
**A** 現時点で担い手は大きく減少してないと捉えており、引き続き県の補助事業を推進していく。

**Q** ICTの活用について何う。  
**A** 来年度は、自動撮影カメラの設置実験を行う予定。

**少雪対応について**

**Q** 除雪待機補償について何う。  
**A** 現在の補償内容は、8年程前に建設業協会と意見交換をして定めたもの。除雪受託者から改善要望がないため、見直しの予定はない。

**Q** 近年の異常気象とも言える状況の中、農作物の対応について技術支援や情報提供はしているか。  
**A** 各組織から情報が提供されており、そういった情報を活用し、より良い農業経営につなげていただきたい。



内山 信一 議員の質問

**重層的支援体制整備事業について**

**Q** 令和5年3月に公表された内閣府の調査では、15歳から64歳までの生産年齢人口において、引きこもりの

方が14.6万人。50人に1人で、三条市に当てはめると千人くらいと推計できる。この方々に何とか支援を届けられないか。実態調査を行うことはできないか。

**A** 日々行われているケースワークや見守りの中で個々の状況把握を行いたい。

**Q** 手を挙げられない引きこもりの方への支援をどう考えるか。  
**A** 現在6つの分野で構成されている重層的な支援体制に、令和6年4月から新たに引きこもり分野を加え、多機関協働による支援チームが中心となり、世帯支援のさらなる充実を図ることとしている。

**曲淵二丁目ポンプ場のピット（一時貯水槽）のかさ上げについて**

**Q** 令和5年9月議会でも、曲淵二丁目ポンプ場の増強について、地域住民が安心して過ごせるよう速やかに着手してほしい旨の質問をし、早速建設課が工事してくれたが、実際には堤防より数センチしか上がっていないので、再度のかさ上げはできないか。  
**A** 再度のかさ上げ工事の予定はないが、近年の宅地化などの状況変化に対応すべく、現在、雨水計画の見直しに取り組んでいる。



曲淵二丁目ポンプ場



岡田 竜一 議員の質問

**都市計画マスタープランの策定について**

**Q** 都市計画マスタープラン（以下「都市マス」）とは何か。  
**A** 都市計画法第18条の2で定められている。

**Q** なぜ令和6年度のこのタイミングで策定し直すのか。  
**A** 現行プランは目標年次を2024年としているので、このたび次期計画として20年後、つまりその時点の推計人口を踏まえた都市の姿を定める。3カ年計画で実施し、令和7年度に公表する予定である。

**Q** 現行プランの評価は。  
**A** 現行プランは目標年次を2024年としているので、このたび次期計画として20年後、つまりその時点の推計人口を踏まえた都市の姿を定める。3カ年計画で実施し、令和7年度に公表する予定である。



坂井 良永 議員の質問

**中小企業振興基本条例の制定を**

**Q** 中小企業には、産業構造の変化や脱炭素化社会を目指すGX、持続可能な開発目標等、新たな社会課題への対応やさまざまな取り組みが求められている。三条市の地場産業発展のために中小企業振興基本条例の制定が必要ではないか。  
**A** 中小企業の果たす役割は非常に大きい。三条市の考え方、スタンスを一步進め、条例制定の要否について検討する。



中小企業に地域経済は支えられている

**農業施策について**

**Q** 農業経営基盤強化促進法が改正され、昨年4月1日から施行された。地域計画には大規模農業だけでなく家族農業も担い手に位置付けるべきだ。

**A** 家族農業も担い手に含まれる。

**Q** 基幹的農業従事者の70%以上が65歳以上の高齢者だ。田植え機やコンバインなどの大農具が壊れたら農業の継続は無理と考えている人がほとんどだ。修理代に一定額を支援できないか。  
**A** 農業機械等導入補助金を実施している。機械修理経費の支援は考えていない。

**Q** 農作業の効率化を図るために、隣接する水田の畦畔（あぜ）を抜いて複数区画の水田を1区画にまとめる「あぜ抜き工事」の経費を補助できないか。  
**A** 農区や自治会が事業主体となって計画的に取り組む場合には、農林土木事業補助金が対象となるので活用を検討してほしい。



西川 重則 議員の質問

**市長の政治姿勢について**

**Q** この秋に任期満了を迎える。滝沢市長は、この4年間を振り返っていかなる感想を持っているか伺いたい。大綱質疑の中で2期目に対する考えを問われ、「しかるべきときに」と答弁。

これは表明する時期を押し量っているのだと思うが、どうか。  
**A** これまでを振り返ってみて、三条市を前に進めるため、議会と市民の皆さまと一緒にさまざまなことに取り組んできたかと思つている。一方、もっと頑張れという、叱咤激励を受けていることもあり、しかるべきときに私の考えを伝えさせていただきたいと思つている。

**令和6年度施政方針について**

**Q** 市長就任時の所信表明では、弁護士出身から基本的な人権や福祉、教育などの表現が多かったと記憶している。そんな中、選びたくなるまち三条の実現に向け、生活や経済、産業界の発展のためには道路行政の強化だ。これは、2期目を意識した取り組みなのか。  
**A** これまで三条市は、体育文化会館、三条市立大学、図書館と建物の整備が進んだ。次は道路ネットワークの強化に力を入れるべきであり、道づくりがまちづくりと連携するような形で取り組んでいくことが大事だと思う。それ以上の意味はない。

**インターネットで市議会の模様を配信しています。**



スマホかタブレットでスキャン!



待望の国道403号三条北道路が開通しました（下保内から県道塚野目代官島線まで）

況の変化から当初の計画通りに進んでいないものもある。  
**Q** このたびの都市マス策定に当たり、市長は担当部署にどのように指示したのか。  
**A** 一定の継続性、安定性が求められるが、一方で変化に応じて検討すべきものも考えている。都市計画道路新保裏館線北工区、済生会新潟県中央幹病院へのアクセス道路の整備、公園の統廃合などを踏まえ検討していくよう指示した。  
**Q** 立地適正化計画改定業務とは。  
**A** 立地適正化計画改定業務については、都市マスの策定業務に伴って検証することに加え、防災指針作成のための災害リスク分析と課題の整理をする。防災指針は令和7年度の公表に向けて改正する。

CHECK!

常任委員会 審査レポート 詳しく議案を  
審査します！

## 済生会新潟県中央基幹病院開院 迅速かつスムーズに救急収容

総務文教常任委員会  
野崎久雄委員長

### 議第1号 令和6年度 三条市一般会計予算

**Q** 児童手当の給付について、今年10月から所得制限の撤廃、支給対象の拡大、第3子以降の支給額増額が実施されるとのことだが、対象者はどの程度増加するのか。

**A** 所得制限が撤廃されることにより対象となる受給者は約2000人、支給対象が高校生年代まで拡充されることにより対象となる受給者は1079人と見込んでいる。

**Q** 児童クラブなどへのオートロック設置の効果をどう考えているのか。

**A** 令和4年3月に不審者の侵入事案があったことを受けて、先行して小中学校にオートロックを設置した。その後、同様の事案は発生していないため、効果はあるものと考えている。児童福祉施設にもオートロックを設置し、より安心して子どもを預けられる

環境を整えたい。

**Q** 開院して約2週間が経過した済生会新潟県中央基幹病院への救急搬送の状況はどうか。

**A** 3月1日の開院から3月17日までに、三条市管内で救急搬送された148名のうち、同院に77名、52%を搬送している。

消防本部としては、多くの患者が迅速かつスムーズに救急収容されていると捉えており、同院には今後も期待している。



付託された議案のうち、議第1号は賛成多数で、その他は全員異議なく原案の通り決定すべきものとした。

## ミネラルウォーターの売上高が 前年同期比77・8%の増

経済建設常任委員会  
坂井良永委員長

### 議第1号 令和6年度 三条市一般会計予算

**Q** しただ米市場拡大推進協議会負担金について、フィンランドへの事業拡大に伴い予算を増額しているが、既に実施しているイタリアでの成果はどうか。

**A** イタリアへの販売量は10トンを見込んでおり、しただ米を使用している日本食レストラン等は46店舗と把握している。

**Q** 万博首長連合事業費について、大阪万博が中止等になった場合、負担金は戻ってくるのか。

**A** 中止等になった場合の対応については、万博首長連合の事務局でキャンセルポリシーを作成中とのこと。負担金が回収できない状況にならないよう、しっかりと確認したい。



### 議第6号 令和6年度 三条市水道事業会計予算

**Q** ミネラルウォーター売却収益は、令和4年度、令和5年度予算では赤字としていたが、令和6年度予算では黒字とした理由は何か。

**A** 令和5年7月に名称とラベルデザインをリニューアルした影響もあり、令和5年4月から令和6年2月末までの実績は、販売本数が3万4828本で前年同期比76・3%の増、売上高が約290万円、前年同期比77・8%の増となっている。こうした状況を踏まえて黒字としたもの。



付託された全議案について、全員異議なく原案の通り決定すべきものとした。

## 能登半島地震で被災の 歴史民俗産業資料館本館を修繕

市民福祉常任委員会  
森山昭委員長

### 議第1号 令和6年度 三条市一般会計予算

**Q** A1オンデマンド交通のーとさ んじょうは、市街地エリアで実証実験をしているが、令和6年度に運行エリアを拡大する予定はあるか。

**A** 令和5年度の実績を踏まえ、拡大に要する経費も精査した上で検討したい。

**Q** 火葬場の指定管理料が約2割増額となるのはなぜか。

**A** 主な要因は3点あり、光熱水費の高騰、経年劣化に伴う修繕の増加、火葬件数の増加に対応するための人員確保によるものである。

### 報第2号 専決処分報告について (令和5年度三条市一般会 計補正予算)

**Q** 社会教育施設災害復旧費として、能登半島地震で被災した歴史民俗産業資料館本館の修繕を行うとのこ

とだが、どのような被害があったのか。また、工事はいつ実施するのか。

**A** 外壁や中央展示室などの十数か所ですっきり壁が剥がれたり、ひび割れたりした。4月に入札を執行し、1か月程度休館して工事を実施する予定。7月に予定されている別館の開館に合わせて再開したい。

### 議第23号 三条市介護保険条例の 一部改正について

委員から市長提案の介護保険料率の額を修正する修正案が提出されたが、賛成少数で否決した。



付託された議案のうち、議第1号、議第3号、議第4号および議第23号は賛成多数で、その他は全員異議なく原案の通り決定すべきものとした。

## 行政視察報告

# ぎいん見聞録

KEN  
BUN  
ROKU

### 議会運営委員会 令和6年1月30日

◎佐藤和雄、○坂井良永、岡田竜一、馬場博文、白鳥賢、野崎久雄、藤家貴之、燕幸男

### タブレット端末を活用した 議会運営について (燕市)

燕市議会では、平成30年にタブレット端末を導入し、議会運営に活用している。

電子書棚に格納した議案等の資料をタブレット端末で閲覧する「ペーパーレス化」を図ることにより、それまで資料の印刷や配布などに要していたコストが削減できた。また、タブレット端末があれば、いつでもどこでも資料が閲覧できるため、議員活動における利便性が高まった。

さらに、各種連絡やスケジュール管理もタブレット端末を通じて行うことで、情報共有がより迅速に、効率的になった。導入当初は、議員の間にもデジタルスキルの差があったので、それを解消

すべく操作研修会を開催するとともに、資料はデジタルと紙を併用する期間を設けるなど、丁寧な対応を行ったとのことであった。

導入に至るまでの課題や実際の活用状況などについて具体的に調査することができ、当市議会におけるタブレット端末導入の検討に当たって大変参考になった。



燕市議会でも活用しているタブレット端末に触れながら説明を受ける。



# 議会 日誌

1月

- 5日 議会報編集委員会
- 9日 議会運営委員会
- 12日 議会報編集委員会
- 16日 議会報編集委員会  
島根県益田市議会視察来条 4名 「地域おこし協力隊について」「移住、定住について」
- 22日 地方議員研究会研修[公明党議員団]～23日(東京都千代田区)
- 23日 新発田市議会視察来条 1名 「ペット同伴避難について」
- 29日 地方議会議員政策セミナー[日本共産党議員団]～30日(東京都千代田区)
- 30日 議会運営委員会行政視察(燕市)→ P15
- 31日 自由クラブ行政視察 ～2月2日  
「定住・移住支援について」(静岡県裾野市)  
「箱根DMO支援事業について」(神奈川県箱根町)  
「茅ヶ崎市における電力の調達について」(神奈川県茅ヶ崎市)  
鳥取県倉吉市議会視察来条 8名 「三条市子ども・若者総合サポートシステムについて」

2月

- 2日 地方議会議員セミナー[清風会](京都府京都市)
- 6日 新潟県市議会議長会春季定期総会(長岡市)
- 8日 市民福祉・総務文教常任委員連合協議会  
市民福祉・経済建設常任委員連合協議会  
市民福祉常任委員協議会
- 9日 総務文教常任委員協議会
- 13日 経済建設常任委員協議会
- 14日 地方議員研究会セミナー[自由クラブ]～15日(大阪府大阪市)
- 16日 令和6年度三条市当初予算概要説明会  
各派代表者会議
- 22日 各派代表者会議  
議案概要説明会  
議会運営委員会
- 29日 議会運営委員会

3月

- 1日 本会議[施政方針演説、提案説明]
- 5日 本会議[大綱質疑～委員会付託]
- 6日 本会議[一般質問]
- 7日 本会議[一般質問]
- 8日 本会議[一般質問]
- 11日 本会議[一般質問]  
議会報編集委員会  
総務文教常任委員協議会
- 12日 市民福祉常任委員会
- 13日 市民福祉常任委員会
- 14日 経済建設常任委員会
- 15日 経済建設常任委員会  
経済建設常任委員協議会
- 18日 総務文教常任委員会
- 19日 総務文教常任委員会
- 22日 各派代表者会議  
議会運営委員会
- 25日 本会議[委員長報告～採決]

## 令和6年6月定例会日程

- 6月17日(月) 本会議[議会運営委員・各常任委員選任]
- 18日(火) 本会議[提案説明]
- 19日(水) 本会議[大綱質疑～委員会付託]
- 20日(木) 本会議[一般質問]
- 21日(金) 本会議[一般質問]
- 24日(月) 本会議[一般質問]
- 25日(火) 市民福祉常任委員会
- 26日(水) 経済建設常任委員会
- 27日(木) 総務文教常任委員会
- 7月 2日(火) 本会議[委員長報告～採決]

## 編集後記

市議会だよりをお手に取っていただき、誠にありがとうございます。地域の皆さまとのつながりを深めるため、市議会でのさまざまな取り組みや議題についてご紹介しています。

議会の活動だけでなく、地域の活性化や福祉の向上に向けて、市民と連携しながら進めていくことが、私たちの使命だと考えています。皆さまの声をしっかりと受け止め、市民のニーズに応えられるよう、これからも努めてまいります。

また、市議会だよりに掲載された内容についてのご意見やご感想、そして市議会へのご要望など、いつでもお寄せいただければ幸いです。

議会報  
編集  
委員会

委員長 藤家貴之

副委員長 武藤元美

西村邦明 竹山嘉一 内山信一

燕 幸男 長橋一弘

発行/三条市議会 編集/議会報編集委員会

責任者/議長 阿部銀次郎

三条市議会事務局 電話:0256-34-5583 Fax:0256-33-8861

<https://www.city.sanjo.niigata.jp/>

E-mail:gikaij@city.sanjo.niigata.jp



この印刷物は、植物油インクと再生紙を使用しています。